

株主・投資家のみなさまへ

第161期

中間報告書

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日



東リ株式会社

証券コード | 7971

株主・投資家のみなさまへ

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第161期中間期(2024年4月1日～2024年9月30日)が終了いたしましたので、当社グループの事業活動についてご報告申し上げます。



代表取締役社長 永嶋元博

当中間期における日本経済は、雇用・所得環境の改善を背景とする個人消費の持ち直しなどにより緩やかな回復基調となりました。一方、不安定な国際金融市場動向やさまざまな社会情勢を背景とするコスト上昇圧力といった不安要素も抱え、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、新しい働き方に対応したハイブリッドなオフィス需要の高まりや訪日外国人客数の回復による店舗・宿泊施設向け需要が引き続き堅調に推移しました。一方、各種建築資材価格の高止まりや人手不足を背景に、住宅・非住宅物件の建築着工量は低調に推移しており、今後の需要動向も樂觀の許されない状況となっております。

このような経営環境の下、当社グループは長期ビジョン<TOLI VISION 2030>の実現に向けて、2025年3月期を最終年度とする4ヶ年の中期経営計画『SHINKA Plus ONE』を推進しております。当期は中期経営指標・全項目

の達成を目指し、各重点戦略の総仕上げを推進いたします。当中間期につきましては、中高級グレードのタイルカーペット「GXシリーズ」にカーペット用ナイロン自社紡糸設備を活用した新製品を投入しました。引き続き、当中期経営計画における3大設備投資(広化東リフロア新3号ライン、カーペット用ナイロン紡糸設備、タイルカーペトリサイクルプラント)を活用した新製品開発にスピード感をもって取り組んでまいります。

これらの結果、当中間期における連結売上高は47,418百万円(前年同期比 2.1%増)となりました。利益面では、製造原価の低減や販管費の縮減に努めてまいりましたが、各種原材料価格の上昇、並びにベースアップによる人件費、製品の大型改廃に伴う販売促進費などが増加した結果、営業利益は1,012百万円(前年同期比 22.4%減)、経常利益は1,147百万円(前年同期比 20.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は689百万円(前年同期比 20.7%減)となりました。

中期経営計画『SHINKA Plus ONE』の総仕上げ

2025年3月期は中期経営計画『SHINKA Plus ONE』の最終年度となります。様々な社会情勢の下、コスト上昇圧力が強まる中で、大型の製品改廃や新製品発売に伴う見本帳費等の販促費が増加し、2025年3月期の業績予想は増収減益の見込みとなっております。厳しい環境下ではありますが、本中計における3大設備投資や『SHINKA Plus ONE』実行戦略の成果を着実に刈り取り、中期経営指標として掲げる全項目（連結売上高1,000億円以上、連結営業利益40億円以上、ROE7.0%以上、リサイクル率85%以上、産業廃棄物排出量40%以上削減:2019年度比）の達成を目指してまいります。

現在、次期中期経営計画（2025～27年度）の策定作業も同時進行中ですが、インテリア事業のバリューアップを目指し、引き続き、積極的成長投資を推進いたします。国内インテリア事業のシェア拡大、利益体質の強化、グローバ

ESG経営で事業推進力を高める

当社グループは、事業活動を通じて経済的価値と社会的価値の向上を目指し、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）に配慮したESG経営を推進しています。

Environment（環境）においては、中期経営計画において環境負荷低減目標を定め、事業活動におけるCO₂排出量の測定と排出量削減に向けた施策や、リサイクル率の向上による産業廃棄物排出量の削減に取り組んでおります。また、エコマーク認定商品やグリーン購入法適合品等の環境配慮型製品を拡充し、多面的な環境負荷低減活動を推進しています。タイルカーペットリサイクルプラントやカーペット用ナイロン紡糸設備等は、当社グループの事業活動外の産業廃棄物やCO₂排出量<スコープ3>を大幅に低減しますが、一方で、当社グループの事業活動に直結した<スコープ1・2>のCO₂排出量は増加することになります。引き続き、創意工夫と技術革新に努め、地球環境保全の視点でも“世の中から期待され信頼される”企業グループを目指してまいります。

ル事業の進展、事業ポートフォリオの拡張など、さまざまな経営課題に対する事業戦略を検討してまいります。

そして、株主価値向上への取り組みも欠くことができない使命であり、PBR（株価純資産倍率）1.0倍以上の早期達成を目指し、あらゆる視点での企業価値向上に取り組んでまいります。

■ 中期経営計画『SHINKA Plus ONE』最終年度経営指標

SHINKA Plus ONE 2021～2024		2024年度
重点目標指標	売上高	1,000億円以上
	営業利益	40億円以上
	ROE	7.0%以上
環境負荷低減目標	リサイクル率	85%以上
	産業廃棄物排出量	40%以上削減（2019年度比）

今後の見通しについて

当期・第3四半期以降の経営環境は、様々な社会情勢に起因する原材料価格の上昇などにより、収益環境は厳しい状況が続くものと予想されます。そのような中、当期発売の新製品や改廃製品、並びに高付加価値製品の販売促進に注力するとともに、製造原価低減による収益改善に努めてまいります。

このような状況を踏まえ、2025年3月期の通期連結業績予想は、売上高105,000百万円（前期比 2.5%増）、営業利益4,100百万円（前期比 17.6%減）、経常利益4,250百万円（前期比 18.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益3,000百万円（前期比 18.7%減）を見込んでおります。

尚、11月1日に開示の通り、今後の資本政策における株主還元方針の見直しを行いました。引き続き当社グループの企業価値向上に努めてまいりますので、株主・投資家のみなさまにおかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年4月より2号プラントが稼働

「TOLI完全循環型リサイクルシステム」とは、生産工程で発生する端材等のリサイクルに加え、市中廃材（市場における使用済み廃材）のタイルカーペットを回収し、自社のリサイクルプラントで原材料に再生し再度製品化する、当社グループの独自リサイクル技術です。

当社グループは、2012年にタイルカーペットにおける「広域認定制度」の認定を受け、カーペットメーカーとして国内で唯一、自社製の使用済みタイルカーペットを自ら回収しリサイクルしています。

また、2021年にはタイルカーペット廃材等をパイル層（表面繊維層）とバックング層（塩ビ樹脂層）に分離することなく再生利用する技術を確認し、完全循環型リサイクルシステムが完成しました。タイルカーペットの国内販売シェア・累計販売数量において圧倒的な存在感を持つ当社グループが、先進的なリサイクル技術によって環境対応を進めることで、インテリア業界の持続的発展に貢献してまいります。



滋賀東リ(株) タイルカーペットリサイクル 2号プラント



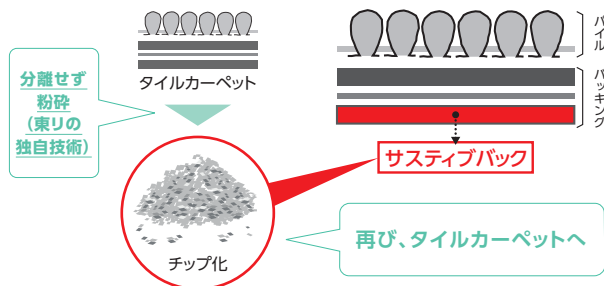
2023年度 年間リサイクル処理量(1号プラント)

約 **2,500** トン

2号プラントが2024年4月より稼働し、リサイクル量の拡大による産業廃棄物の大幅削減に寄与
(処理能力は3.5倍に増強)

「TOLI完全循環型リサイクルシステム」最大の特徴

パイル層(表面繊維層)とバックング層(塩ビ樹脂層)に分離することなくリサイクル原材料として再利用することで、ほぼ100%のマテリアルリサイクルを実現しトータルエネルギーコストの削減にもつながります。また、繰り返し再利用しても外観上の変化がないことや品質が劣化しないことも実証済みです。



詳しい技術資料はこちらをご覧ください

東リ環境対応タイルカーペットバックング
Sustive Back

https://www.toli.co.jp/digital_catalog/pdf/sustive_back.pdf



東リ環境対応タイルカーペットバックング

Sustive Back
「サスティバック」



サスティバック品の更なる拡充を図る

「GA-3600 サスティバック」のご紹介

GA-3600 サスティバックは、バックング層の一部にリサイクルチップを使用した東リ環境対応型タイルカーペットを代表する製品です。従来品(サスティバックを使用していない)と比較すると、大幅なCO₂排出量削減に繋がり、環境対応ニーズの高まりにマッチする製品として販売数量も大幅に伸長しています。



● 従来品^{*1}と比較したCO₂排出量削減率

CO₂排出量削減率 **41%**
(自社算定^{*2})

^{*1} GA-3600従来品(塩ビバックング品)

^{*2} 自社算定基準に基づいて算出。実際に使用している材料等のデータを用いて算出しています。ライフサイクルの内、使用維持段階は除いて算出しています。

● GA-3600 サスティバックが取得している4つの環境認証

グリーン購入法適合品



未利用繊維、リサイクル繊維、再生プラスチックおよびその他の再生材料の合計重量が製品全体重量比で25%以上使用されている製品です。

グリーンラベルプラス



アメリカのカーペット・ラグ協会「CRI」により制定された、カーペット製品の室内空気環境の認証システムです。

エコマーク



「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して、環境の負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた製品です。

エコリーフ



エコリーフ宣言(マーク)はLCA(ライフサイクルアセスメント=製品の資源採取から廃棄・リサイクルされるまでの一生にわたった環境影響評価)によって得られた製品の定量的環境影響データを検証・公開するものです。

NEWS CLIP

01

ハイグレードな壁紙の新ブランド 日本の伝統工芸を掛け合わせた素材系壁紙を収録

2024年5月、素材系壁紙を中心にハイグレードで多彩な壁紙を収録した「TOLI GRAND WALL COLLECTION (東リ グランウォールコレクション) 2024-2028」を新発売しました。

こだわりの素材に特殊な印刷・加工を施した意匠性の高い壁紙のほか、素材をリアルに表現した不燃化粧仕上げ材「リアルデコ」、多様なデザインコンテンツを取り揃えた「デジタルプリントウォール」など、中・高級グレードの壁紙コレクションです。ホテルライクな上質の空間づくりに最適なラインアップとなっております。



和紙・不織布壁紙



和紙壁紙(目地取り工法)



石目柄のリアルデコ(目地取り工法)

NEWS CLIP

02

江戸情緒に満ちた新たなにぎわいの場 “ネクスト和モダンデザイン”の空間づくりに貢献

東京湾(江戸前)に面した豊洲市場の玄関口に、複合施設「豊洲 千客万来」が開業しました。江戸の町並みを想起させる商業エリアと、和モダンデザインの温浴エリアからなり、たくさんの来場者で連日にぎわっています。

客室には、クッション性の高いバックグ層一体型のタイルカーペット「特注品ソフトバックプラス」が採用され、踏み心地の良さと遮音性の高さでお客様をおもてなししています。また、喫煙室の床には耐シガレット性を有する「ルースレイマスターNW-EX」が、厨房の床には防滑性を強化した「NSアクアトレッドHR」が敷設されるなど、空間ごとのニーズに対応した機能性とデザインを兼ね備えた製品をご採用いただきました。



東京多摩産の杉材と純色に光る瓦が特徴の外装



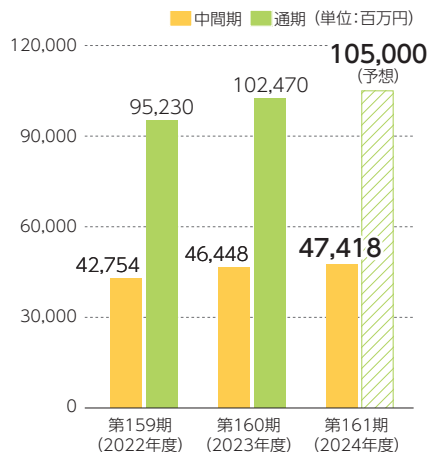
客室にはタイルカーペット特注品ソフトバックプラスが採用

豊洲 千客万来

所在地：東京都江東区豊洲
企画・監修：万葉倶楽部(株)一級建築士事務所
環境デザイン：(株)アンデザイン一級建築士事務所
設計：五洋建設(株) (株)シェルター
施工：五洋建設(株) (株)石井工務店
開業：2024年2月

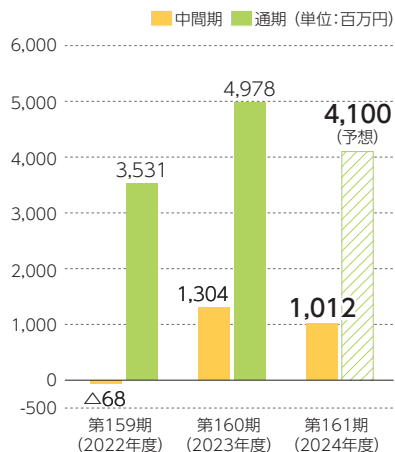
売上高

47,418百万円



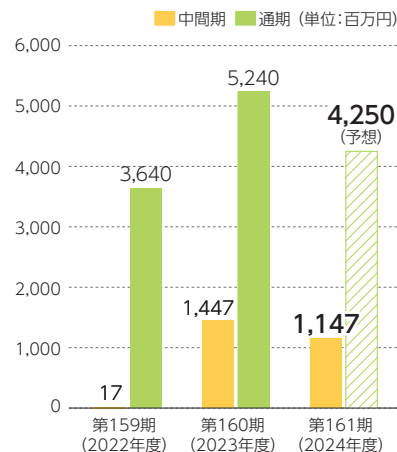
営業利益

1,012百万円



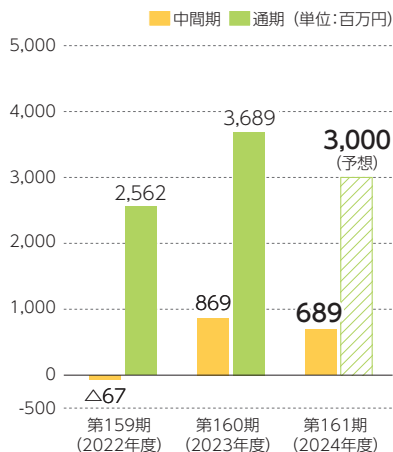
経常利益

1,147百万円



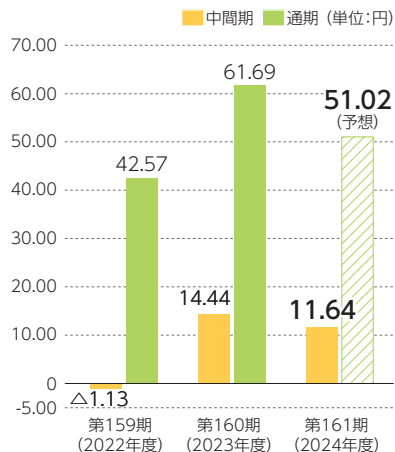
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

689百万円



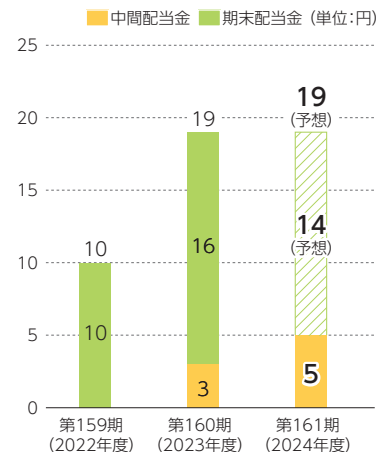
1株当たり中間(当期)純利益

11.64円



1株当たり年間配当金

19円(予想)



■プロダクト事業

ビニル系床材では、非住宅市場向け需要が弱含みで推移する中、ワックスメンテナンスが長期間不要なビニル床タイル「イークリンNW-EX」や接着剤が不要な裏面吸着タイプの簡単リフォーム床材「LAYフローリング ピタフィー」など、当社独自の製品の販売数量が大幅に伸長したことにより、売上高は前年を上回りました。

カーペットでは、グラフィックタイルカーペット「GXシリーズ」を7月に発売いたしました。また、オフィスリニューアル需要の高まりにより、タイルカーペトリサイクルプラントを活用した環境配慮型タイルカーペット「GA-3600 サスティバック」が引き続き好調に推移しましたが、カーペット全体の売上高は対前年比微減となりました。

壁装材では、5月に新ブランド見本帳「TOLI GRAND WALL COLLECTION」(東リグランウォールコレクション)が、多くのお客様から高い評価を頂いております。また、7月には機能性を拡充した汎用タイプビニル壁紙「東リウォールVS」を発売し、販促活動に注力したものの、住宅向け需要が低調に推移したことなどにより、壁装材の売上高は前年を下回りました。

カーテンでは、住宅向けカーテン「フフル」や教育・医療施設向けカーテン「コントラクトカーテン」の販促に注力しましたが、オーダーカーテン需要が弱含みで推移し、売上高は前年を下回りました。

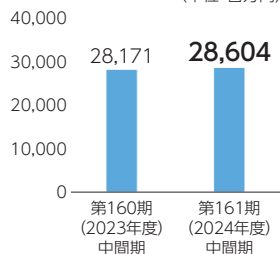
※プロダクト事業とは、主に当社及び関係会社がビニル系床材やカーペットなどのインテリア製品を製造・販売する事業です。

■売上高

28,604百万円

前年同期比 1.5%増

(単位:百万円)

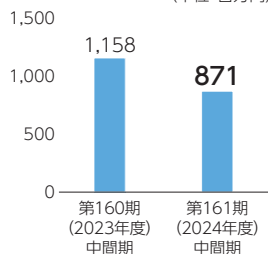


■セグメント利益

871百万円

前年同期比 24.8%減

(単位:百万円)



■インテリア卸及び工事事業

国内建設業における時間外労働上限規制の適用や高止まりする建設コストへの対応など、生産性の向上と質の高いサービスへのニーズが高まっています。そのような中、仕入れ価格の上昇に応じた販売価格への転嫁を進めつつ、東リブランド新製品を中心とするきめ細かい商品提案に注力したことで、売上高は前年を上回りました。

東璃(上海)貿易有限公司では、中国国内の需要低迷が続く、不動産業界においても住宅着工床面積の低迷や住宅価格が継続的に下落するなど、景気の回復が遅れています。そのような中、各エリア代理店との連携や提案営業の強化を図り、同社の中間期(2024年1月～6月)売上高は前年を上回る結果となりました。

また、北米市場での売上拡大を目指し、当社100%出資の米国現地法人「TOLI North America Corporation」の営業を7月に開始いたしました。従来の東部・中部エリアを中心とする販売から西部エリアでのチャネル開拓を推進し、北米市場におけるTOLIブランドのさらなる浸透を図ってまいります。

※インテリア卸及び工事事業とは、主に関係会社がインテリア関連商材の仕入販売及び内装工事を行う事業です。

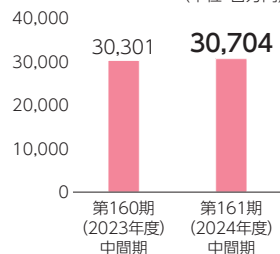
(注) セグメントの業績は、セグメント間の取引を含めて表示しております。

■売上高

30,704百万円

前年同期比 1.3%増

(単位:百万円)

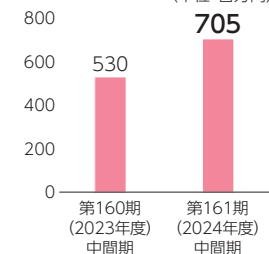


■セグメント利益

705百万円

前年同期比 32.9%増

(単位:百万円)



中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第160期 (2024年 3月31日現在)	第161期 中間期 (2024年 9月30日現在)	増 減
資産の部			
流動資産	52,928	45,763	△ 7,165
固定資産	37,921	38,786	864
有形固定資産	24,606	25,707	1,100
無形固定資産	675	665	△ 10
投資その他の資産	12,639	12,413	△ 225
① 資産合計	90,849	84,549	△ 6,300
負債の部			
流動負債	34,066	29,066	△ 5,000
固定負債	11,022	10,026	△ 996
負債合計	45,088	39,092	△ 5,996
純資産の部			
株主資本	40,658	40,430	△ 228
その他の包括利益累計額	4,775	4,730	△ 44
非支配株主持分	326	296	△ 30
純資産合計	45,760	45,457	△ 303
負債純資産合計	90,849	84,549	△ 6,300

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第160期 中間期 (2023年4月1日～ 2023年9月30日)	第161期 中間期 (2024年4月1日～ 2024年9月30日)	増 減
② 売上高	46,448	47,418	970
売上原価	32,960	33,750	790
売上総利益	13,488	13,668	180
販売費及び一般管理費	12,183	12,655	472
③ 営業利益	1,304	1,012	△ 291
営業外収益	296	289	△ 6
営業外費用	153	154	0
経常利益	1,447	1,147	△ 299
特別利益	5	8	3
特別損失	35	13	△ 21
税金等調整前中間純利益	1,417	1,143	△ 274
法人税等合計	529	429	△ 99
中間純利益	888	713	△ 174
非支配株主に帰属する 中間純利益	19	24	5
親会社株主に帰属する 中間純利益	869	689	△ 180

POINT

① 資産合計

流動資産は、前年度の第4四半期に増加した売上に係る債権の回収が進んだこと等により、前連結会計年度末に比べ7,165百万円減少し、45,763百万円となりました。

固定資産は、製造設備増強等に伴い、有形固定資産が増加しました。その結果、前連結会計年度末に比べ864百万円増加し、38,786百万円となりました。

これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ6,300百万円減少し、84,549百万円となりました。

② 売上高

仕入れ価格の上昇に応じた販売価格への転嫁を進めたことや、高付加価値新製品を中心とする販促活動に注力したことにより、売上高は47,418百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

③ 営業利益

各種原材料価格の上昇、並びにベースアップによる人件費、製品の大型改廃に伴う販売促進費等が増加した結果、営業利益は1,012百万円(前年同期比22.4%減)となりました。

会社概要

創立 1919年(大正8年)12月1日
資本金 6,855百万円
従業員数 914名
主な事業内容 ビニル床タイル、ビニル床シート、カーペット、カーテン、壁装材、接着剤等の製造販売
本社 兵庫県伊丹市東有岡五丁目125番地
東京本部 東京都港区東新橋二丁目10番4号
工場 伊丹、厚木
ショールーム 札幌、東京、名古屋、大阪、岡山、高松、福岡
営業所 札幌、仙台、盛岡、郡山、新潟、長野、東京、大宮、千葉、水戸、八王子、横浜、名古屋、静岡、金沢、大阪、京都、神戸、岡山、広島、高松、松山、福岡、北九州、鹿児島、沖縄、シンガポール

役員

(取締役・監査役) 代表取締役社長 永嶋元博
取締役専務執行役員 天野宏文
取締役常務執行役員 橋本昌幸
取締役 横田絵理子
取締役 関根近秀
取締役 藤井秀延
常勤監査役 鈴木潤
常勤監査役 松本渉
監査役 森川拓
監査役 渡沼照夫

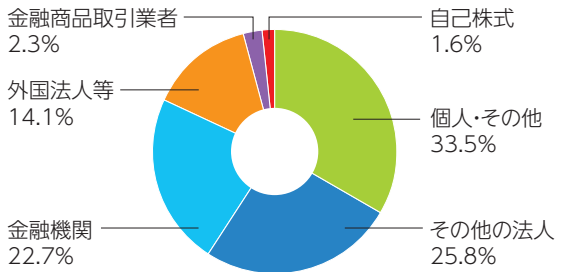
(注) 1. 横田絵理、関根近子および藤井秀延の3氏は、社外取締役であります。
2. 森川拓および渡沼照夫の両氏は、社外監査役であります。

(執行役員) 常務執行役員 中野洋二
常務執行役員 荒立陽三
常務執行役員 花岡敦司
執行役員 田淵俊之
執行役員 工藤務
執行役員 長森正知
執行役員 園田信子
執行役員 児玉剛治
執行役員 加藤晃朗
執行役員 竹川政克
執行役員 永原孝史

株式の状況

発行可能株式総数 141,603,000株
発行済株式の総数 60,129,249株
株主数 14,290名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	3,641	6.1%
株式会社トクヤマ	2,780	4.6%
東親会持株会	2,197	3.7%
株式会社三菱UFJ銀行	1,777	3.0%
三信株式会社	1,730	2.9%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,724	2.9%
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,485	2.5%
東リ社員持株会	1,297	2.1%
株式会社池田泉州銀行	1,220	2.0%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	1,024	1.7%

(注) 持株比率は、自己株式(944千株)を控除して計算しております。

株主メモ

決算期 3月31日
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
単元株式数 100株
株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
株主名簿管理人
事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(お問い合わせ先) 0120-094-777 (通話料無料)
https://www.tr.mufig.jp/daikou/

■公告の方法

電子公告の方法により、東リホームページ(<https://www.toli.co.jp>)に掲載します。但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

- (ご注意)
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【お知らせ】

株式関係の手続きのご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社のウェブサイトで24時間承っております。
○ホームページアドレス <https://www.tr.mufig.jp/daikou/>



東リ株式会社

<https://www.toli.co.jp> 当社は、インターネット上にホームページを開設し、会社情報、商品紹介、レポートやニュースをご案内いたしております。

本誌に関する 注意事項	本誌に記載されている当社グループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた当社グループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、様々な要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。
----------------	---



今回の表紙デザインは、社内公募を行い、社員より寄せられた作品を使用しました。2024年7月に発売したグラフィックタイルカーペット「GXシリーズ」阿克アルチェの商品写真を使用しています。

